

千葉県生協連活動報告

2020 年度第3回食・消費者委員会を開催しました！

昨年、千葉県の農業は、房総半島台風等の豪雨災害により甚大な被害を受け、現在もまだ復旧できていない地域もあります。また、新型コロナウイルス感染症による影響も大きいとのことです。



そのような中、9月25日に開催した第3回食・消費者委員会では、JA 千葉中央会より農業対策部担当部長の今田光則さんを講師にお迎えし、千葉県の農業の現状とこれからをテーマにお話をうかがいました。今回も ZOOM での開催となりましたが、委員以外の組合員理事にも出席いただき、事務局を含め

JA 千葉中央会今田光則さん 23 人の参加となりました。

◆千葉県の農業の現状とこれからについて

初めに、昨年の豪雨災害からの復旧の状況や現在の新型コロナウイルス感染症の影響への対応についてお話いただきました。災害後のビニールハウスの撤去では各自治体での廃棄方法の違いのために作業が進まなかったことなど、復旧時の課題などをご説明くださいました。

続いて、令和2年3月末に改定された食料・農業・農村基本計画をもとに千葉県の農業についてご説明いただきました。特に千葉県知事へ提出した「令和3年度千葉県農業施策・予算編成に関する要請」の概要、中でも災害対策対応、有害鳥獣・耕作放棄地等対策などといった喫緊の課題に対し県に要請したことを説明くださいました。

講演後の質疑応答では、都市近郊の耕作放棄地対応策から農業支援などの消費者がおこなうボランティアなど、幅広い課題に対し多くの質問や意見が出され、活発な意見交換の場となりました。

最後に今田さんから「JA グループ千葉のホームページが、新しく9月にできました。今後、ホームページの中で、千葉の農業についてご意見をいただくアンケートをおこなう予定です。ぜひ、力強いエールを送っていただけると嬉しいです。」と結ばれました。



